

# 物理の面白さ大切さを伝えよう

— これからの物理教育を考える —

**開催日時:**平成15年12月14日(日) 13時から

**場所:**キャンパスプラザ京都  
京都市下京区西洞院通塩小路下ル

**主催:**日本物理学会京都支部

参加費  
無料

21世紀を担う青少年が、自然科学に対して親しみを持ち学ぶことが重要であることは言うまでもありません。本シンポジウムでは物理をはじめとする理数教育カリキュラムをいかに工夫していくか、そのためにどのような具体的な方策がとりうるのかを議論します。

プログラム

## 1 はじめに

國廣悌二(京都大学基礎物理学研究所)  
13時00分-13時10分

## 2 理科教育の危機と再生

— 検定外教科書づくり、関心・意欲を引き出す授業づくり —  
左巻健男(京都工芸繊維大学アドミッションセンター)  
13時10分-14時00分

## 3 これからの高校物理実験について考える

— オープンエンドとIT・アドバンス物理に学ぶ —  
山崎敏昭(同志社高校)  
14時00分-14時50分  
休憩(10分)

## 4 「わかる」とはどういうことだろう

山田耕作(京都大学大学院理学研究科)  
15時00分-15時50分

## 5 公教育の充実を求めて

上野健爾(京都大学大学院理学研究科)  
15時50分-16時40分

## 6 パネルディスカッション

— これからの理数教育 —  
16時40分-17時40分  
17時40分 終了予定

■事前登録をなるべくお願いします。12月5日締切(Tel、葉書、またはFaxでお願いします。)

■登録先:〒606-8502 京都市左京区北白川追分町

京都大学大学院理学研究科物理学第二教室内 日本物理学会京都支部

Tel:075-753-3823/Fax:075-753-3886

本シンポジウムは、平成15年度文部科学省科学研究費補助金「研究成果公開促進費(B)」の補助事業として行うものです。